

# 芹澤代輔氏

## 1. 立候補を決めた理由を教えてください

きっかけは2011年東日本大震災。海岸付近に住む私には、東日本大震災の津波被害は、他人事に思えませんでした。海沿いに面している地域の防災対策は改善しなければならない問題ですが、沼津の防災対策は東日本大震災から12年経つのに改善が感じられません。変わらないのなら自分達の地域は自分で変えていく。私が住む地域のため、同じように感じている他の地域のために働いていきたいとの思いで立候補を決断しました。

## 2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少です。人口増加への糸口は防災対策の強化と考えます。1995年以降、人口は減少していますが、東日本大震災以降に減少率はさらに大きくなっています。人口減少の原因は防災対策への不安が大きいため市民の命を守る対策が不十分では、企業を誘致したり、若者に魅力的な街づくりをしても意味がありません。それらは安全の上に成り立つもの。市民の命を第一に考える沼津を実現。それが人口減少の解決策だと考えます。

## 3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

プラスになるかは、これから30年の市政次第です。ただ足踏みをしているだけでは何も変わりません。沼津を良くするためには、これから30年が大事な期間になってきます。私は35歳ですが、30年後には65歳です。30年後、40年後を見据えた政策をしていき、それをまだ生まれていない未来の議員に繋げていく。目先の政策ではなく、未来の子供たちのために30年先を見据えた政策を実施していけば再生は可能だと考えます。

## 4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

現状のままでは達成は難しいでしょう。子供を育てることに経済的不安を抱える世帯が多く、子育て世帯に手厚い支援をしていかなければ達成は難しいです。移住に関しては、沼津は温暖で過ごしやすい街なので、市外や県外に魅力を発信した上で、沼津市が移住者を支援していく体制を整えば今より増えていくと考えます。